

第3回 坂出ニューポートプラン検討会議（H30.12.3）

委員からの主な意見

- 岸壁の老朽化、滞船の発生、クルーズ船の寄港、背後用地の不足に加え、船舶の大型化に対応すべく、総社地区を念頭に企業誘致できる背後地を備えた大型船に対応できる大水深岸壁の整備が必要である。
- トラックドライバー不足により、関東の荷主が四国への長距離輸送に危機感を持っている。このタイミングで関東の荷主の意見を聞いて頂き、坂出港に RORO 船を誘致して頂きたい。早急な対応を願う。
- さぬき浜街道と国道 11 号線を結ぶ南北の道路について、大型車の通行制限により、迂回が必要となっていることが、県道 33 号線の街なかで発生している渋滞の一因となっているのではないかと。労働時間短縮の観点からも、道路交通環境の改善を検討して頂きたい。
- 坂出北 IC がフル化されて物流の効率化が図られた後も、人流の面からのアクセス性の向上、特に坂出港から坂出市内へのアクセスが大きな課題として残る。クルーズ船の誘致や観光振興という観点からみても、坂出港と周辺地域とのアクセス性の確保は重要であり、坂出港単独の課題として捉えず関係機関との調整等が引き続き必要である。
- 西運河の活用や、倉庫の多目的利用などで、西運河地区は人流面を拠点に検討して頂きたい。
- 西運河地区は、高潮等による浸水リスクが高いことから、浸水対策のため、現在の西運河を港務所まで埋立てて頂きたい。埋立てた土地に交流拠点を設けることにより、観光客の誘致が期待できる。
- 坂出港が有する資源を活用した賑わいの検討が必要である。
- ロンドンの街のシンボルとなっているタワーブリッジは、街なかにはアクセスの容易さから人気の観光スポットになっている。瀬戸大橋も主塔への登頂が可能である上、主塔の登り口（橋台）に架橋工事に関する模型展示スペースがあるなど、博物館的な要素も兼ね備えるなどの魅力がある。たくさんの方が訪れられるよう関係者と調整を進めていく必要がある。
- 坂出緩衝緑地は港に近く、人流にも大きく係わることから、緑地の整備目的を踏まえた上で、有効活用を検討して頂きたい。

以上